

授業科目

障害者スポーツ論

【担当教員名】 高橋一栄	対象学年	3	対象学科	健康スポーツ学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<概要>

障害者のためのスポーツを理解し、その理論と実際に障害者スポーツを体験することを目的とする。まず障害者スポーツの意義と必要性を理解し、実際に「ホイール・スポーツ」をメイン教材として体験する。サブ教材として、ブラインドスポーツ、「ゴールボール」などの可能性も検討する。これらの活動を通して障害の程度に応じた指導計画や指導内容・方法などを学習する。

<学習目標>

障害者スポーツを実際に経験する活動を通して、障害の程度に応じたスポーツの指導計画や指導内容・方法などを学習する。  
障害者スポーツは、たんに障害者だけのスポーツではなく健常者も行えることを体感的に理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション 障害者スポーツの特長と必要性		全体
2	障害者スポーツの概略		全体 ビデオ、新聞記事
3	障害者スポーツと一般スポーツとの共通点/相違点		全体 ビデオ、新聞記事等
4	ホイールスポーツ（車椅子バスケットボール）の基礎的ルールの学習と試行		全体・グループ
5	車椅子バスケットボールをより楽しむための工夫①ルールや場に関して		全体・グループ
6	車椅子バスケットボールをより楽しむための工夫②同上		全体・グループ
7	まとめ		全体

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	障害者のスポーツ指導の手引き	日本障害者スポーツ協会編	ぎょうせい	2001
その他の資料	その都度配布する			

【評価方法】 出席状況と授業態度、レポート試験によって行う	【履修上の留意点】 3 から5回については運動のできる服装で集合すること
----------------------------------	---